

<金標準、テクニカルの悪さから 12500 円を試す値動き・・・>



(出所：オアシス)

トランプ氏が次期大統領となる結果となり、また上院議会に続き下院議会でも共和党が過半数を確保するなど「トリプルレッド」となった事から、従来のウクライナ情勢や対中国関税引き上げ問題もトランプ次期大統領のやりたい放題の状況を生む事から、ビットコインや株価は大きく上昇を見せた「トランプトレード」も一巡するなど値動きが落ち着きを見せている。また新政権が財源なき減税や景気刺激策等を導入してインフレを引き起こす懸念もあり、FRBの利下げペースが遅延するという観測も広がり、ドルと長期金利が上昇する中で、金価格は調整安が入った状況に思われる。

特に先週は消費者物価指数、生産者物価指数、小売売上高の発表を受け、12月のFOMCにおける利下げ確率が50%へ低下するなど金標準先物も12750円まで下値を模索している。

特にテクニカル要因が依然と下値追いの展開を示しており、10月の安値12112円に向けた下値追いには注意が必要に思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが下げながら、シグナルも下げている。RCIは短期が底張りを見せ、長期は下げている。特に日足が10日移動平均線を下回った状態であり、40日移動平均線を再度下回る値動きには注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,452,000 円(2024 年 11 月 18 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 11 月 18 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>